

「居場所」とは、人と人とのつながりの場である。
 「住まい」ではなく「住まう人」の変遷に注目すると、
 核家族の歴史の「上がり」は高齢単身者になる。
 一方、結婚しない人や子どもをもたない夫婦なども増えており、
 かつて「標準世帯」と呼ばれた家族の形は少数派になっていく。
 2030年の住まいのヒントは、
 「夫婦と子」以外のさまざまなつながり方にある。



新しいつながりに住む

2010
 |
 2030

双六から
 居場所づくりへ

